

令和5年度第2回多摩市認知症施策推進協議会 要点録

**要点録**

○協議会概要

開催日時	令和6年1月23日（火）19時00分～20時30分	
開催場所	多摩市役所 301・302会議室	
出席委員 (11名)	岩下 覚 会長 牛尾 龍朗 委員 黒田 康之 委員 岩崎 嘉信 委員 来島 みのり 委員 岡田 美保 委員	渡辺 千春 副会長 村松 啓子 委員 齋藤 誠 委員 入江 幸子 委員 鎌田 氏 (小島大二郎 委員代理)
欠席委員 (1名)	石井 真紀子 委員	
事務局 (15名)	健康福祉部長 伊藤 高齡支援課長 五味田 介護保険課長 原島 地域ケア推進係長 八木 地域ケア推進係 御宿・萩原・青木 認知症地域支援推進員（地域包括支援センター） 認知症初期集中支援チーム	
公開区分	公開	
傍聴者	無	

## ○議事内容

### 1 報告事項

---

#### (1) 多摩市認知症ケアパスの改訂について

【事務局（認知症地域支援推進員）】

資料 1. 改訂内容について説明。

質疑

【会長】

・ケアパスの文字を見やすく大きくしてほしい。

【委員】

・他市では若年性認知症当事者がケアパス改訂の会議に参加し、報償費が支払われている。  
多摩市の意向はどうか。

【事務局】

・多摩市では、認知症地域支援推進員と高齢支援課で対応しているため、現在は当事者は参加していない。

【委員】

・当事者の参加が絶対ではないが、当事者の声をきちんと反映していただきたい。

【委員】

・内容が多いが、ページ数に負担感はないか。改訂でページ数の増減はどうか。

【事務局】

・文字を大きく、見やすくする改訂を行うため、おおむね 8 ページ増加の予定。

【委員】

・介護者からは読みきれない、わからないとの声がある。冊子が厚いと読むのに尻込みをしてしまうからなるべく薄くしてほしい。  
・簡易版があるとよい。簡易版を見ながら、もう一つ先の段階に進んで本編を読むことができるとよい。

【会長】

・今より 8 ページ増となると、手に取りにくいかもしれない。

**【事務局】**

- ・「チェックリスト」「認知症とは」が記載されたA3、1枚の簡易版はある。簡易版を活用していただきつつ、本編読んでいただくのはどうか。

**【委員】**

- ・簡易版の存在が知らなかった。作成するなら活用できるものにしてほしい。

**【事務局】**

- ・興味を持ってもらえるようなデザインにしたい。  
配布時に、ケアパスのどこを確認するとよいか説明し読み方をサポートをしていきたい。

**(2) 令和5年度多摩市認知症初期集中支援チーム事業について**

**【事務局】**

資料2.について説明

**【事務局】**

- ・受託開始の平成27年度から実績は徐々に減り、対応件数が令和2年度からは年間1, 2件  
令和5年度訪問受理ケースは80代男性のケース1件。
- ・昨年度より、地域ケア会議のスーパーバイズ参加を開始。昨年度は3件、今年度は0件。  
(1月現在)
- ・チームに関する普及啓発活動や、地域ケア会議や訪問事業を通じて、チームを含め引き続き地域資源全体の対応力の向上に努め活動に寄与していきたい。

**質疑**

**【委員】**

- ・件数の減少理由があったら教えてほしい。
- ・事例は良い事例だったと思う。力のあるケアマネジャーはこの制度を使わなくても解決できたかもしれないが、この制度を利用したケースのケアマネジャーはこの制度を使って心強かったと思われる。利用する敷居を低くして、使いやすくしていただくよう力を入れて取り組んでほしい。

**【事務局】**

- ・依頼件数が減った理由としては、チームを利用する前に医療機関につながっており、何らかの支援を受けているケースが多いこと。また、初期集中支援事業は専門職がチームを組んでトータルな支援をする事業だが、そこまでの支援が必要ないというケースもある。
- ・課題としては、制度の周知や、資源開発、関係機関の連携である。  
より事業を使い勝手の良い、利用者のためになる制度にしていきたい。

**【委員】**

- ・地域ケア会議の参加が0件はもったいない。専門職メンバー構成での参加を推進することで、様々な解決につながると思うので、活用したほうがよいと思う。

**【会長】**

- ・多職種の専門職が様々な形でサポートし、スーパーバイズ的な機能を持っていることは心強い。

**【委員】**

- ・前回の協議会でも、同様の課題が挙がっていた。
- ・チームの利用に繋がらない理由として、チーム介入の前に対応ができていることも1つかとも思う。しかし多職種で専門職が介入できるこの制度を活用してほしい。
- ・地域ケア会議は医師も含めて参加となるので、声をかけていただきたい。

**【委員】**

- ・年間30件近い地域ケア会議を開催している中で、チームを活用しないのはもったいない。もっと活用したい制度だと思う。

**【会長】**

- ・この事業について、活用しやすい形などを検討していただければと思う。

## 2 協議事項

---

### (1) 認知症バリアフリー推進についての課題【会長（医師）】 と具体策 について

#### 【会長（医師）】

- ・第1回協議会で出していただいた課題や、国・都の動向より、今後の多摩市の認知症施策の方向について検討していきたい。

#### 【事務局】 資料3. 資料4. の説明

- ・資料4の検討課題「認知症バリアフリーの推進についての課題と具体策」について、委員の各職場や立場から、忌憚なくより具体的なアイデアをいただくため、グループに分かれて協議を行う。

<<< グループワーク A・B・Cのグループ に分かれて討議 >>>

#### 【会長】

- ・少人数での討議で意見が活発に出た。行方不明、無銭飲食で保護された件では、多摩中央警察署では800人くらい（400人弱が高齢者）が関わりがあるなどの話がでた。

#### 【委員】

- ・エスコートサービスがあるといい。図書館や公共機関へ行くサポートがあると良いといつも思っている。これが「チームオレンジ」の役割になっていくのではないかという意見がでた。

#### 【会長】

- ・いただいた意見や具体策については、市で取りまとめ、次回以降引き続き協議していきます。

## 3. その他

---

事務局より、「第9期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についてパブリックコメントの募集を行っている。ご意見があったら、事務局へ提出いただく。

以上